Lesson 2: ライオンのクリスチャン

シーン 1

① 1969 年のある日、ロンドンの大きなデパートは買い物客でいっぱいになっていた。ジョンとエースはロンドンで同居していた。そのとき彼らは、オーストラリアにいる家族に贈るためのクリスマスプレゼントの買い物をしているところだった。

② 買い物をしている最中、彼らは、売り出し中の子ライオンの入った小さなケージを見つけた！ 「デパートでライオンなんて見たことがない！」とエースは驚きのあまり叫んだ。

③ 子ライオンはかわいかったが、とても悲しそうに見えた。彼らは、そんな小さなケージに入れられているライオンがかわいそうだと思った。ついにジョンがこう言った。「この子を買おう。」

シーン 2

④ そのオスライオンはクリスチャンと名づけられた。ほんの数日のうちに、クリスチャンはジョンとエースとの新しい生活が気に入った。2人とクリスチャンは、本当に仲良くやっていた。2人のどちらかがもう一方と話していたら、クリスチャンはそっと彼に触れて、一緒に遊びたいと伝えたものだった。

⑤ クリスチャンは外出することも大好きだった。ジョンとエースは、彼に特製の首輪を買ってやった。一緒に散歩に出かけると、クリスチャンは興奮した子犬のようにリードを引っ張った。彼らはまた、野原で一緒に何時間も走り回ったり、ボール遊びをしたりした。「彼のいない生活なんて想像できないよ。」とジョンはほほ笑みながら言った。

⑥ 初めのうち、人々はロンドンにライオンがいるのを見て驚いた。しかし彼らにもすぐに、クリスチャンは小さなかわいい友だちなのだとわかった。新聞のカメラマンやテレビのレポーターをはじめ、多くの人々が、クリスチャンに会いに来た。

⑦ しかし、クリスチャンはとても速く成長していった。ジョンとエースは、幸せな生活は長く続かないと感じていた。

シーン 3

⑧ ある日、クリスチャンは家でベルトを見つけ、それを歯で拾い上げた。エース